

もっと安心農産物 ねぎ(春どり)栽培暦(令和6年)

JA ちばみどり 海上野菜組合産直部

1. 土づくり

完熟堆肥、または緑肥を施用し、土づくりを行う。土壌診断を実施し、適正施肥を行う。

2. 施肥 ☆施肥診断にもとづく施肥量の遵守 **化学肥料窒素成分使用量14kg/10a以下**

	肥料名	保証成分(%)	施肥量
基肥	①マイルドユーキ 030 号 または ②エコレット866	10-13-10(有機態窒素 5.3)	140kg/10a (化成由来N 6.58kg)
		8-6-6 (有機態窒素 4.1)	160kg/10a (化成由来N 6.24kg)
	苦土石灰		80kg/10a
追肥	①マイルドユーキ 030 号 または ②エコレット866	10-13-10(有機態窒素 5.3) 20kgあたりの化成由来N 0.94kg	最大140kg/10a まで追肥可能 (化成由来N 6.58kg)
		8-6-6 (有機態窒素 4.1) 20kgあたりの化成由来N 0.78kg	最大160kg/10a まで追肥可能 (化成由来N 6.24kg)

基肥・追肥は①または②を選択し、化成Nの合計が14kg/10aを超えないよう注意しましょう。

3. 防 除 **化学合成農薬 15成分回数まで(苗購入の場合 13成分回数まで)**

(Zボルドー・スピノエース顆粒水和剤は化学合成農薬に含めない)

月	管理作業	病害虫の発生推移	薬剤名	希釈倍数・処理量	使用回数	対象病害虫	備考 (耕種的防除の実施等)
6月上旬	播種	↑ハモグリバエ ↑軟腐病 ・ネギアザミウマ ・白絹病 ・べと病 ↓シロイチモジヨトウ	カルホス微粒剤F	播種時又は 6 kg/10a 植付時 6 kg/10a	1回	ネキリムシ類	育苗時にホリバー(黄色を設置) 圃場周辺の除草を実施し、雑草・害虫の発生を低減させること
中旬	育苗						
下旬	施肥						
中旬			スピノエース顆粒水和剤	2500 ～5000 倍	3回	アザミウマ類	
下旬			ハチハチ乳剤	1000 倍	2回	アザミウマ類	
8月上旬	草取り		ナレート水和剤 (2剤カウント)	1000 倍	3回	軟腐病	
中旬							
下旬							
9月上旬	追肥・土寄せ		モンカット粒剤	4～6kg/10a	3回	白絹病	
中旬			ハチハチ乳剤	1000 倍	2回	アザミウマ類、さび病、べと病	
下旬			ディアナ SC	2500～ 5000 倍	2回	シロイチモジヨトウ・アザミウマ類・ネギハモグリバエ	

月	管理作業	病虫害の発生推移	薬剤名	希釈倍数・処理量	使用回数	対象病虫害	備考 (耕種的防除の実施等)
10月上旬	土寄せ	↑↑ べと病・さび病・ ネギアザミウム・シロイチモジヨトウ 小菌核腐敗病 ↓	アフェットフロアブル	2000 倍	2回	さび病 黒斑病 小菌核腐敗病	
中旬			プレオフロアブル	1000 倍	4回	ネギアザミウム・シロイチモジヨトウ	
下旬			フェスティバルC水和剤	1000 倍	3回	べと病	
11月上旬	草取り		スピノエース顆粒水和剤	2500 ～5000 倍	3回	アザミウム類	
中旬			ランマンフロアブル	2000 倍	4回	べと病	
下旬	追肥・土寄せ		アミスター20 フロアブル	2000 倍	4回	さび病・黒斑病・べと病	
12月上旬			レーバスフロアブル	2000 倍	2回	べと病	
中旬							
下旬							
1月上旬	土寄せ						
中旬							
下旬							
2月上旬	土寄せ		アフェットフロアブル	2000 倍	2回	さび病 黒斑病 小菌核腐敗病	
中旬							
下旬							
3月上旬	収穫						
中旬							
下旬							

☆みんなで守ろう生産基準